

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年11月29日 (2018.11.29)

【公表番号】特表2017-538669(P2017-538669A)

【公表日】平成29年12月28日 (2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-050

【出願番号】特願2017-520986(P2017-520986)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/741 (2015.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2018.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00 Z N A

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 43/00 1 0 7

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 35/741

A 6 1 K 39/395 Q

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 16/28

C 1 2 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月16日 (2018.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

骨髓由来抑制細胞（M D S C）の存在または骨髓由来抑制細胞（M D S C）の蓄積によって免疫抑制が誘発されている、癌、感染症、外傷、自己免疫疾患、ワクチン接種、慢性炎症疾患または移植片機能障害から成る群から選択される病態の治療に使用するための医薬組成物であって、前記骨髓由来抑制細胞（M D S C）を分化させることによって前記病態を改善または予防でき、特異的に S I R P a と結合し、S I R P a と C D 4 7 の間の相互作用を遮断する、抗シグナル調節タンパク質アルファ（抗 S I R P a）抗体または、その抗原結合体から成る群から選択される、医薬組成物。

【請求項 2】

前記分化した M D S C が C D 8 0、C D 8 6 および C D 1 0 3 から成る群から選択される少なくとも 1 つの人間遺伝子マーカーを発現する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記分化した M D S C が C D 8 0、C D 8 6 および C D 1 0 3 から成る群から選択される少なくとも 2 つの人間遺伝子マーカーを発現する、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

医薬組成物であって、前記分化した M D S C が C D 8 0、C D 8 6 および C D 1 0 3 の 3 つの人間遺伝子マーカーを更に発現する、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

医薬組成物であって、前記分化した M D S C が人間遺伝子マーカーを発現する、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記病態が固形癌、肝細胞癌および黒色腫である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記病態が転移癌である、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記医薬組成物が第 2 治療薬に併用される、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記第 2 治療薬が化学療法剤、放射線療法、免疫療法剤、抗生物質およびプロバイオティックスから成る群から選択される、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記第 2 治療薬が治療ワクチンおよび免疫チェックポイント遮断剤または賦活剤から成る群から選択される免疫療法剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記第 2 治療薬が、抗 P D L 1、抗 P D 1、抗 C T L A 4 および抗 C D 1 3 7 から成る群から選択される免疫チェックポイント遮断剤または賦活剤である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物による治療効果を決定する方法であって、前記医薬組成物によって治療される患者からのサンプル中で、

前記M D S Cおよび前記M D S Cが人間遺伝子マーカーC D 1 1 b、
かつ、C D 8 0、C D 8 6およびC D 1 0 3から成る群から選択される少なくとも一つの
人間遺伝子マーカーの存在を測定することを含む、
人間遺伝子マーカーC D 1 1 bと、C D 8 0、C D 8 6およびC D 1 0 3から成る群から
選択される少なくとも一つの人間遺伝子マーカーを発現する細胞の存在が、
M D S Cの存在を上回った時、治療が効果的になる、方法。

【請求項 1 3】

前記サンプルが血液サンプル、組織サンプル、腫瘍からのサンプル、または滑液サンプルである、請求項 1 2 に記載の方法。